令和７年度学校関係者評価委員会議事録

日　時：令和８年７月30日15：00～16：10
場　所：香里ヶ丘看護専門学校　会議室
参加者：

（学校事務局）	香里ヶ丘看護専門学校学校長	木村記子
	香里ヶ丘看護専門学校副学校長	上原奈々
	香里ヶ丘看護専門学校事務課長	奥林佑貴（進行）
（学校関係者評価委員）	香里ヶ丘有恵会病院看護部長	岡田美子
	社会医療法人弘道会常務理事	高木誠一

議題：

1. 参加委員の紹介と学校関係者評価の趣旨の確認
   各委員の紹介、本委員会の目的について確認。

2. 令和７年度における変化、自己点検自己評価結果に関する共有

【学校運営について】

令和８年４月１日より学校法人弘道会として新たなスタートをきっている。基準１における教育理念、目的、育成人材像については今まで培ったものを継承してほしい。
弘道会グループの学校となるため経営面ではいままでと異なる対応が必要となることも見込まれるが法人、学校職員共に一丸となり質の高い教育を提供できるよう努力してほしい。
基準２において法人変更によって変化する組織整備については今後法人を交えて整える予定であるため評価点の向上を見込める。
法人変更・移転に伴う変化は学生、職員、関係各所に不安を与えないよう今後も情報発信については慎重に行う。

【受験生確保について】

令和８年度入学入試は出願者数が前年度から減少し80名の定員を割っている。
高校生の進路決定、試験日程の早期化が世間でも進んでるため入試の日程や内容については検討が必要ではないか。
新校舎への移転については交通アクセスが良く、設備の一新により最新の看護教育を受けられる点は大きなメリットになるが反面、令和９年度入学入試については枚方周辺の高校生は２年目から通学距離が遠くなること、大阪市周辺の受験生からは１年目に枚方市まで通う必要があることはデメリットにも映るため上手な広報活動が必要。
基準７の学生募集について外部への情報提供の機会、媒体の検討を行うことでメリット

の面を強く押し出すべき。

【学生への支援について】

基準5の学生支援について記載されていないが令和 8 年度より高等教育の修学支援新制度の対象機関となっている。学生が給付奨学金、授業料減免を受けることが可能となり低所得世帯、多子世帯の出願に期待が持てるためホームページ等に大きく開示するべき。また、令和8年7月時点では令和9年度入学者に対して100円ランチや学生への交通費補助が発表されているので学生の満足度向上につながる。

【教育活動について】

令和 7 年度卒業生の国家試験結果合格率は全国平均 94.1%を下回ってしまっている。カリキュラム改正後 3 年次の国家試験対策の時間を多くとっているが学校に登校せず自習している学生が不合格となる傾向が強い。空きコマも登校し教員の指導を受けながら取り組むよう促す。

3. 総括

学校法人化及び移転の計画は学校の展望を広げる機会となる。今までの実績や関係性を継承し、新しい環境やソフト面、ハード面ともに向上した教育を提供することで学生及び関係各所に貢献してほしい。

18歳人口、看護師志望者の減少によって閉校となる看護専門学校が増えているが、確実に需要のある職業、学校であるため様々な変化があるとは思うが今後も教育理念にある通り人間性豊かな専門職業人として看護師を地域に供給してほしい。

以上

【大項目評価点】

項目	自己評価	学校関係者評価
基準1 教育理念･目的･　育成人材像	2.3	2.5
基準2 学校運営	2.1	2.4
基準3 教育活動	2.7	2.5
基準4 学修成果	2.3	2.2
基準5 学生支援	2.7	2.8
基準6 教育環境	2.4	2.5
基準7 学生の募集と受け入れ	2.6	2.4
基準8 財務	2.3	2.5
基準9 法令等の遵守	2.4	2.4
基準10 社会貢献･地域貢献	3.0	3.0

【大項目評価結果グラフ】

